



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

広島^{じゅこう}の原爆で人間のように「はないくらいまでやけどをしてとても悲^じんな事^{こと}だったこと。兵隊^{へいたい}の人は兵隊^{へいたい}の人で助けたいのに助けられないという複雑な思いをかかえていたこと。

原子爆弾で多くの命が失われ、一瞬で町が^あれはてしてしまうほどの威力のあるものだったこと。

実際は、原爆ドームにある模型よりもひどく苦しいものだったということ。

兵隊の人に助けていただいて今もなお感謝している人がたくさんいること。

今もなお、放射線などで苦しんでいる方がたくさんいること。

あんなに小さな物が広島を破壊したこと。

今回の授業で絶対に私たちが大きくなっても戦争をしてはいけないと思いました。

あんなにも多くの人をき^せいにしました。

二度と同じことはしてはいけないと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

私が一番心に残ったのは、義三さんが「資料館」で、展示品を見て「きれいすぎる」と言ったことです。私は「資料館」に小学校1年生の時に行ったのですが、こわくて何とも言えない気持ちになったことを今でも覚えています。それなのに、「きれいすぎる」と言ったという事は、現実には展示品などでは表すことができない、「こわさ」だったんだと思います。原爆先生の特別授業を受けて、もう1度、「資料館」に行ってみようと思います。1年生の頃は「こわい」としか思えなかったけれど、今ならちがう感情がわき出てくるかもしれません。「こわい」と思うのも大事だと思うけれど、「こわい」だけではなく、もう2度としてはいけないと思い、それを実行していくことが大切だと思います。そして、世界の人とも理解し、やっと、平和な世の中が作られていくのだと私は思っています。

七くなった方々のためにも、今自分ができることを精一はやりたいです。それが七くなった方々を大切に思うということになると思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回、原爆先生の特別授業を受講して初めて学んだことが

たくさんありました。

B29爆撃機のエノラ・ゲイというのがチベット大佐のお母様の名前だったということや原爆の中に入っているウランの重さが60kgだったことなど驚くことばかりでした。

また、お話を伺っていて長崎に投下された原爆が長崎の中心部から離れていたことや原爆の中に入っていたウランの重さが60kgなのに、なぜ燃えたウランの量が1kgだけだったのかなど戦争について、もっとたくさんのことを学びたいと思いました。

池田義三さんがビデオで原爆が投下された時のことについて話されていたのがとても印象に残りました。

また、原爆資料館で人形を見た池田義三さんが「綺麗すぎる」とおっしゃったという話を聞いて、言葉や文字では表せないほどの景色だったんだなと思いました。

唯一の被爆国である日本は世界に原爆の恐ろしさを伝えていかなければいけないと思います。

また、原爆の影響で苦しんでいる人たちが1日でも早く苦しみから解放されるといいなと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私も両親も、戦争を体験の恐ろしさはわかりません。でも、今回の特別授業でもっとこわいと思います。その気持ちを知ることができました。熱線、衝撃波、放射線、私たちに、一番こわいものが一気にきて、原爆が落ちた直後に亡くなった方々、そしてジワジワとくる痛みを感じながら亡くなった方々の死が無駄にならない未来をつくらなければいけないと思いました。そして、被爆国である日本が世界に原子爆弾の恐ろしさを伝えていかないといけないと思います。私は昔、なぜこんなこわいことをたくさんの人に伝えるのか疑問に思っていました。でも、この原爆のことをこれからも伝えていかなければ、またこのようなことになってしまうと思うと、勇気を持って戦争について伝えていくことが大切だということになりました。少なくなっている被爆者の方々のお話、思いを私たちが伝えていくとともに戦争のことをもっと知って、平和な未来にしていきたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

2/17

今、原爆先生の授業を受けて一番心に残っているのは広島原爆資料館にある、被爆した女性の人の人形のことです。人形は原爆の威力がよく分かるものでしたが、原爆先生のお父様は「きれいですぎる。」と言われたことです。あと、おどろいたのが原爆が爆発した時に直径200mしかないのに表面温度が7000℃あったことです。太陽の6000℃をこえるなんてそうとう熱かったんだなと思い、さらにおどろいたのが、広島地の温度が3000℃ということです。6000℃の $\frac{1}{2}$ ではありますが、鉄がとける温度より高く人の水分が全て蒸発したり、黒こげになるのにな、とくできました。

原爆先生の授業を受けて知識のほほが広がりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

2/17

今日、原爆先生の特別授業を受講して、あらためて、原爆のおそろしさを感じました。今まで、先生に習ったり、本を読んだり、さまざまなことを通じ原爆のことを知っていましたが、今回、直接、生々しい体験談を聞き、今まで感じたことのないおそろしさを感じ、胸がしめつけられました。でも、私が感じたおそろしさは、「原爆投下」という事実を知ったよでのものであり、実際に体験した人は初めてのことで、そのおそろしさはきくと想像できないくらいだと思います。今、自分の皮膚を見て、これがはかれ落ちてしまうと考え、手足がふるえてしまいます。また、私たちが見られる町なみが一気に破壊されてしまうと考え、これ以上被爆国が増えてほしくないという思いで、いっぱいになります。

今、核禁止条約に日本が賛成しないというニュースをよく聞きます。唯一の被爆国・日本が核禁止条約に旧ても早く賛成をしてほしいです。そして、世界で二度と、このような悲惨な事がおきないでほしいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は原爆先生の特別授業を受講して、学んだことがいくつかあります。それは、「エノラ・ガイ」の由来のことや、どうして原爆雲は上に上ったあと、平らになっているのかということや1kgというのが何を表しているかということなどです。そして何より一番びっくりしたことは、広島県産業奨励館が今の原爆ドームの元になったということでした。他にもたくさんびっくりしたことがあります。例えば、衝撃波の速さが音速よりも速かったことや、太陽より熱い熱線が、広島中に降りそそいだということでした。そして、先生が特別授業中にぜひ調べてくださいますとおっしゃった2つの疑問点について調べてみたいと思います。そして、私も広島にいらしてみたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は戦後70年の2015年にテレビで放送された、「キノコ雲の下で何が起きていたのか」を見て以来、久しぶりに原爆について今日、深く考えました。

「キノコ雲の下で何が起きていたのか」という番組では、皮膚がただれた人がたくさん出てきて、人がこんなにも無残な姿になるとは...と、とても圧倒されました。

原子爆弾投下都市の条件が、直径5kmを超える大きな都市であること、平野であること、それまでに空襲がなかったことの3つであることは初めて知りました。

それに、候補になった都市は広島と小倉と長崎だけだと思っていたので、横浜、新潟、京都も候補地になったと聞き、とても驚きました。また、衝撃波の速さが音速よりも速いのにもとても驚きました。それに、有名な原爆ドームは元は広島県産業奨励館であったという話は初めて聞きました。また、原爆の表面温度は太陽と同じくらいだと思っていましたが、太陽の表面温度よりも1000℃も高いのには驚きです。先生の授業にはクイズなどがあり、とても楽しかったです。これからも平和の大切さを忘れずに、今の平和さに感謝して日々を送ってまいります。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/17

私は今回の話を聞いて、原子爆弾を落とすのは絶対やてはいけないと思いました。約47、3、12m たったそれだけでもものすごい被害をもたらしています。死亡率40%というのは5人に2人亡くなっているということも原爆先生に聞いてゾクッとなりました。私たちの学年にたとえると、80人中32人が死んでしまうということです。とてもおそろしいです。

原子爆弾の中心部の温度は100万度と言っていました。あまりイメージはわかりませんがこれくらいです。一番おどろいたのは表面温度が太陽の表面温度より約1000度熱いということです。私たちは30度をこえるだけでも熱いと思うのに約3000℃の熱さを感じたらどれほど熱いのかと感じました。実際に3000℃を体験したら、熱いと感じる前に死んでしまいます。熱線・衝撃波・放射線どれもいたくて大変そうです。二度とこのようなことを起こしてはいけないと改めて思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生^{じゅこう}の特別授業を受講して

表

2/17

原子爆弾については今まで、何度も何度も話を聞いたことがありましたが、今回の授業は今までで最もわかりやすく、印象的な授業でした。やはり、唯一の被爆国である日本の国民として、原子爆弾についてはよく知っておくべきだと私は思うので、授業を聞くことができ、とても良かったです。今回の授業の中で最も印象的だったお話は原子爆弾は太陽よりも熱いというお話です。60kgのウランの中の1kgしか燃焼していないのに、太陽以上の熱さになるとは思いもしませんでした。私は以前、平和記念公園へ行ったことがありますが、原爆先生の特別授業を受講してもう一度行ってみたいと思いました。原子爆弾は本当に怖くて二度とあってはいけないうことだと思います。今回聞いたことをみんなに伝えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日、原爆先生にお話を聞いて、今まで以上に戦争と原爆の怖さを知りました。一番びっくりしたのは、広島に落ちた原爆は60kgのウラニが入っていて、^燃えたのはその、わずか1kgで、技術が進んだ今では60kgの全てのウラニを^燃やす力があり、その刻兵器が世界で約1万5000発あるということです。私には想像できませんが、恐ろしいということだけはわかります。もう一つは、原爆は表面温度が7000℃で、太陽よりも表面温度が1000℃も高く、それが600m地上にあつたということです。人間の全ての水分が一瞬で^蒸発してしまうということを知ってからさらに恐怖を感じました。池田義三さんが、ドラムカンの影にいて目撃したことは奇跡としか言えないと思います。今、広島には約70年前の面影は全くありませんが、体験者のお話を聞いて、その恐ろしさを世界に広めて、もう一度戦争を起こさないようにしなければならぬと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/17

私は元々原爆がこに興味があった
のですが実際に体験された方
のお話を聞くと、資料や映像
ではわからない、悲しさ、
苦しさを知ることができました。
本当にお話を聞いていると胸が
きゅっ、と苦しくなったり、なみだか
が流れてきました。でも、やはり
話だけでは、感じることはできな
いものがあると思います。それを語
られた池田義三さんの映像は
本当にきょうなものだと思います。
特にお話している時になみ
だを流されている映像は強く
胸をうたれました。

私は今回特別授業を受講して
「もっと知りたかった」と思いました。
そして、自分も原爆先生のように
なりたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回、原爆先生の特別授業を受講してから最初に、こわい、と思いました。

私は原爆先生の授業を受講する前にまなかの『はだしのゲン』を読んでいて、池田義三さんの日記や、動画の時に「皮膚がたれさがり...」「皮膚がズルッ...」など、その時の様子を想像してしまい、やっぱり、平和なのはいいな、原子爆弾なんかなくなっってこんな悲しいことはぜったいにやってはいけないことだと思いました。

今度広島に行って原爆ドームや平和公園、しりょう食官などに行ってみてきたいです。

ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

2/17

私は広島に家族で旅行に行ったことがあり、その時にガイドさんが豆知識程度で教えてくれたので、大体は分かっていたのですが、詳しくは知らなかったもので、良い機会だったと思います。それに、その時は全く意味が分からなくて、キョトンとしていたのですが、この特別授業では、義三さんの気持ちになって考えられたし、意外な事実を知れたりして、とても考えさせる時間でした。

一番驚いたのは、やはり活気があふれていた広島^{の街}がたった一つの過ちでこんなにも酷い、無残な姿になってしまったことです。

それに、広島でなくても一つ一つの街には、暮らしている人々の想いや、いろいろな思い出がたまっている、というのにそれを壊してしまうなんて、戦争。で悲しいものなのだなと改めて思うと同時に胸がはりさけるような気持ちになりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回、原爆先生の授業を受けて、インターネットでは知ることのできない、実際に体験した方にしか、語ることのできる話しを聞いて、戦争の本当の恐怖、怖さかわかりました。太陽よりも熱い、7000℃もの熱さになり、爆発した原爆「リトルボーイ」(ウランと言う原子が爆発)原爆心地中心に居た人たちは、一瞬にして、体中の水分が蒸発し、炭素だけになって、何もなくなってしまうのです。候補になった都市で一番選ばれたのが京都だそうです。でも、日本で一番伝統的な物がある(神社や寺)と見て、選はなかつたのです。やさしい面もほんの少しだけあるのではと思いましたが、多世にわたって人を皆殺しにしたことは、本当にゆるせないし、怖い人たちだと感じました。戦争はとっても怖いと思わせられた授業でした。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/17

原爆先生の特別授業を受講して、私

はまず原爆の威力におどろきました。とくに熱線は、太陽の表面温度6000℃よりも高い7000℃でそれが地表600mの高さにあるほどで、私の想像をはるかに超え、もう、「熱い」と思う間もなく死んでしまったのだなと思いました。

たった1kgのウランが燃焼しただけで14万人もの命をうばい、皮膚がただれではかかれて後遺症に苦しむ多くの人口をつくり出した原子爆弾かものすごい威力なのに、その千倍の威力の原子爆弾を各国が使ったら、想像もできない恐ろしいことになると思います。だからこその目を背けてはいけない、そうならないためには対話が必要なのだと思います。

今日、特別授業を受講して、平和の大切さを学び、今の日本が平和なのだなと改めて感じました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/17

原爆先生の授業を聞いてとても、こわいと思いました。太陽の表面温度の6000℃よりも高い7000℃が600mの所にあたら鉄や色々の物が溶けてしまいます。

おどろいたことは原爆が落ちた所から150mしか離れていないのに助ったことです。それは、電話局の地下にいたと聞きました。そして、レニかに座っていた人の跡が残っていたことです。人間は炭素が集ってできた固まりです。

放射線を浴びると手などに後遺症が残ってしまうようです。

池田義三さんが、資料館を見た時に女の人の手がいまにでも溶けそうな物を再現しているのを見て、「きれいだった」と言、たのはも、とひどいやけどなどをしていたんだ」という意味だと私は思いました。原爆のこわさを知り、いろいろ学ぶことができてよかったです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は今回の原爆先生の授業を
うけて、改めて原爆のおそろしさも知りました。
今回の授業を受ける前までは原爆がおそろしい物
だとあまり実感していませんでした。授業で
池田義三さんの実体験を語ってくださったり
原子爆弾がどれだけのすごい物なのか、
資料や動画を見たりして前よりも原
爆のおそろしさをおもい知りました。

私が原爆について一番おどろいたことは、
原爆が落とされて600mのところ爆発し
たときの温度です。原爆の中心部分では
100万℃、表面温度が7000℃で爆心地
や爆心地近くの500mほどでは3000℃ほど
の温度になると聞き、とてもびっくりしました。
また爆心地周辺にいた人々は一瞬で
水蒸気がでてき、灰のかたまりになっ
たそうです。爆心地から1.5kmほどの場所でも温
度が高く皮膚がむける人がたくさんいたそうです。

今回の話で、もう二度と戦争などで原爆を落としたりしてはいけません。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/17

今回、原爆先生の授業を受けて一番びっくりした事は、原子ばくだんが投下されてその熱が太陽の表面温度(6000℃)よりも熱く熱線として来た熱が人の中身の水分が蒸発して内臓まで黒こげになってしまった人がいたということです。私はとても考えられなくなりました。しかし、その出来事が約70年前と、あまり遠かったわけではないことだと思いました。もしも、私がその時代について広島に暮らしていたのならば、と思うと体がふるえてきます。それに原子ばくだんでできた水蒸気が成層けんぎりぎりのところまで上がるということはそれほど原子ばくだんのが力がすごいということだと思いました。もし、今の時代、もっと技術が発展してもっとすごい力のばくだんが作られてしまうことがおこります。いつか夏休みなどに広島原爆資料館に行ってみたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

私は原爆先生のお話を聞き、改めて原爆は、とても悪い物だと思いました。広島や長崎では、多くの被爆者や死者がでて、私はとても悲しい気持ちになりました。当時17才の陸軍であった池田義三さんは、本当にとても苦しく悲しい思いをしたと思います。とんとん人が死んで助けようとするも助けられず、たくさんの方が命をおとしました。人間だけでなく、動物や建物にも被害がでて、大変だったと思います。私がもし、そのとき広島や長崎にいたら大けがをし、苦しんでい、悲鳴をあげ泣いていたと思います。私よりも小さな子供もいて、とてもつらかったと思います。もう二度と、このようなつらく悲しい事が起こっては、絶対にいけません。なので、今私たちができる事は、このような被害者がでないように心がけたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回、原爆先生からお話を伺って、いろいろな気持ちになりました。苦しみ、悲しみ、辛さ、むなしが心の中で、まるで原爆雲のように広がりました。

私は、「原爆が太陽よりも熱い」こと、「先生のお父様のビデオ」がとても印象に残りました。原爆の表面温度が7000℃、太陽の表面温度が6000℃と聞いた時、思わず耳を疑ってしまいました。私は、火の玉が落ちてくるくらいに思っていたので、太陽が落ちてくるのよりも大変なことなんだと知って、おどろきました。お父様のビデオに出てきた「綺麗すぎる」という言葉が心に残りました。私は広島に行ったことがなく、テレビでしか原爆資料館を見たことがありません。怖い展示がたくさんある所だなと思っていましたが、実体験をした人にとっては上辺だけの苦しみを表しているんだなと思いました。

原爆について深く考えさせられる一日でした。原爆についてもっと知りたいです。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

戦後から約70年経た今、やはり戦争のこと
原爆投下のことを勉強しなければいけない
と思っていました。原爆のことをしっかりお話し
してください。たのは原爆先生が初めてだと思
います。祖父も戦争の中、生きた一人であることに
違いはありませんが関東にいたため、実際に
広島で働かれた池田義三さんの日記はどれも
原爆のおそろしさをとても感じるものでした。
今回のお話はどれも心に響きました。特に
心が動かされたのは池田義三さんのビデオメッ
セージです。途中、涙を流されたのが印象
的でした。70年経っても、その時の光景や感情
は忘れてはいなくて、どれも心から消えることは
ないのだなと思っていました。私たちは戦争を経験
していません。ですが経験した方の話は聞けます。
その話を聞く機会があれば聞き心にしてお
くことが大切だと思っていました。平和維持のため
に私も行動していきたいです



原爆先生の特別授業を受講して

じゆこう

表

名前は裏面に記入してください

2/17

今回、特別授業を受講して知らなかった現実を知ることが出来、良かったと思います。原爆の恐怖を改めて知り、被爆者の全ての気持ちまでは分かりませんが少しは分かったような気がします。話を聞いて、原爆について興味を持ちました。原子爆弾の威力を知りおどろきました。原爆ドームには行った事はありませんが前から行きたいと思っていたので行って被爆者の気持ちを考えたいと思います。特別授業の最後の映像を見て、涙が出てきました。もう一度見たかったです。原爆についてもたくさん知りたいのでぜひ「原爆先生 かや、てきた!」を読み、知識を増やしたいです。私は、やはり戦争を絶対に起こしてはいけないと改めて思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/19

今日、原爆先生の特別授業で、私が心に残ったことがいくつかあります。1回目のビデオに出てきた「黒いかげのしみ」の話です。映像を実際に見て、びっくりした、だけでは言い表せない、胸が痛むような思いでした。また、原爆の中心部の温度、100万℃、表面温度は7000℃。まったく想像できませぬ。太陽は6000℃と聞いてもとおどろきました。その1つの原爆で14万人の命がうばわれ、死亡率40%...聞いていて苦しくなりました。そして、もう一つ、先生がお話してくれた、義三さんと一緒に原爆資料館をおとすれた時の、義三さんがおっしゃった「綺麗すぎる」という言葉です。その言葉がすべてを物語っているなあ、と思いました。「戦争はいけない」そんなことはわかっていたけれど、今日お話をうかがって、実際に体験した人にしかわからない戦争のおそろしさ、悲惨さがあるんだなあと痛感しました。本当に貴重な経験になりました。これからは私たちが「平和な日本、世界にするために頑張ります。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、「原爆先生」を受講する前に、テレビで広島^の原爆について見たことがあったので、「原爆」について少し知っていました。が、実際に被爆者の方の体験談を聞いて、「原爆」のおそろしさ、破壊する力の大きさを改めて知りました。体験談を聞いていて、もし私があの時代に、あの場所に行ったらどうなっていたのだろうと思うと背ずきがゾクッとしました。「原爆」が投下された時の映像を見ていて、人々が一瞬のうちに消えてしまうことがあるのかと自分の目を疑いました。現在、北朝鮮がミサイルの実験を行っていて、またあの約73年前の悲劇がくり返されようとしています。また「リトル・ボーイ」の約4倍の力を持った核が1万5千は〇つもあるそうです。これからの社会を作っていく私たち子どもがこれからどうすれば良いのか考えていきたいと思っ



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回、原爆先生の授業を受講したことにより、思ったことがあります。それは、なぜ人は人を殺すような武器を使うのかです。先生のお話やビデオを見ていると、とても見ているのがつらかった。「こわい」「いたい。」そして原爆を落とした国の写真をとっている人も「見たくない。ひどいもの」と言っていました。相手も自分も、それから未来も苦しむ原爆をおとした理由がとても気になりました。そして、とてもこわかったのが皮膚がただれおち...ゆべダゴのような...。こんな場面を体験した池田義三さんは強い人だと思いました。私なら二度とこのことを口に出したくない。思い出したりしたくないと思います。しかし、義三さんはその体験をこのような形で私たちに伝えてくださりました。それは本当に素晴らしいことだと思います。私はこの授業で広島に行きたいと思いました。実際とは違っても自分の目で見え、心に残しておこうと思います。本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して^{じゅこう}

表

2/17

改めて、原爆のおそろしさを痛感しました。

原爆が、もし今頭の上に来たらと思うとぞとします。太陽よりも熱いものが、本当にきた。当時の人々はどんな気持ちだ、たのかなかと思います。私がある時、その場所に行ったら、苦しんで、死にたいです。皮膚がたれ、痛くて、苦しむならば、爆心地にいて、炭になって死にたいなと思いました。

家が倒壊し、人がうめき、泣き叫ぶ、所をみた。原爆先生のお父様はどんな気持ちでいたのか、私が見たら、涙がこみ上げてくるより先に、おそろしさと、叫んでいると思います。私は広島で、原爆ドームを見に行ったことがあります。骨組みがむき出しになった原爆ドームは、原爆のおそろしさをものかた、ていました。私が行った時は、原爆資料館は、閉まっていた。そこを見に来た、広島に行きたいなと思います。

今、原爆・戦争を体験した方が、少なくなっています。私たちは、そのことを、次の世代に伝えていかなければならないな、と思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/17

私は、今まで時々夏休みの日記の課題などとして、戦争について調べたりしてきました。しかし、ほとんど一つのことをしらべはせず、終戦の日などにテレビなどでくる気になったことや、知らないことをしらべていたので、よく授業で習う原爆などは、少し調べて終わりにしていました。けれども原爆先生の特別授業を受講して、原爆のひさんさを目の前に叩きつけられた感覚でした。もう一度広島や長崎の原爆について、しらべてみようと思います。特に原爆を落としたENOLA GAYや、長崎の原爆についても詳しくしらべたいです。

最近は大体験した人に直接お聞きできる機会が減っています。もっと沢山しらべて、大体験した人と同じくらいくわしく、次の代へ伝えられ、原爆が無いような世かいにしたいなと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/17

私は今まで原爆といえは「戦争で使う物」や「物を破壊する爆弾」などしか思いつきませんでした。今回、私は原爆先生の授業を受けて、原爆の威力を知りました。先生の原爆が落とされた時の表現の音は想像していたより大きくびっくりしました。現実には音だけでなく、まぶしい光などがあたと聞いてそれ以上に恐ろしいのだなと思いました。今そのような核をおとせると地球が無くなってしまうと思います。これからは私たちは、戦争をしないような世界を作りたいと思います。平和記念博物館での話の「生まれいそがる」という言葉は人形以上に残っていたんだが、と思います。



名前は裏面に記入してください

2/17

私は、特別授業を受けて感じたことはどんなに話を聞いても映像を見ても実体験者ではないのでこわさなどを完全に知ることはできないということです。その時の音、におい、熱さ、周りの景色、苦痛などは、体験したことのない私たちには分かりません。お話を聞くと、皮膚がはがれ落ちる様子も、人々が苦しんでいるところも人形で完全に表すことはできません。きっと、人形で表わされた様子よりも本当に体験した人たちから見たら、もっとひどく、かくなものだと思います。戦争のことをそう簡単に教えて下さる人が少ない理由は、体験した人は「本当の戦争を知っていて、思い出したくない現状や、その苦しさを分かっているからだ」と思います。戦争を体験し、生き残ったとしてもその時の記おくは、その人じに深い傷を負わせてしまうので、とても戦争はこわいものだと思

しました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私が授業を受けて一番感じたことは、想像以上に衝撃的で、心に残った映像や画像がとっても多かったということです。被害にあわれた方、そしてその方たちの傷の手当てや、死体を運ばれた方々は、とってもつらい思いをしたんだろうと思います。もしも私がその立場にいたら、と考えたりもしました。原爆ドームに行けば、全てがわかったような気もしていました。でも、実際はそれよりももっと残酷で、悲惨だったんだなとわかりました。ビデオを見た時、たった1kgのウランで、簡単に人は飛ばされたり、あ、という間に土地が燃やされてしまうという恐怖を感じました。

私たちは、本当の戦争を知りません。怖さを知っても、被爆者やその家族の本当の気持ちを全て理解するのは、難しいのかもしれない。でも今日、原爆先生が教えてくださったことを思い出し、少しでもその方たちに寄りそえるように、心にとめておきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原子爆弾の話は昔から知っていて、とてもおそろしいものだと知っていました。しかし、今日の原爆先生のお話を聞いて、私の想像していたものは生やさしすぎたと感じました。特に印象に残ったのは、池田義三さんが原爆で亡くなった方々を焼いた時のお話です。体中が黒こげになって、皮がズルズルとはがれていくなんて、考えただけでもゾッとします。また、原爆が直径200mの球体になったときのその表面温度が、太陽の表面温度を起えちゃうことには、とてもおどろきました。広島市民の5人に2人が亡くなってしまう、こんなことを二度とくり返してはいけなと思いました。たった1kgほどのウランが起こしたこのお話を聞いて、唯一の被爆国である日本には、大切な使命があるのだと、改めて気づきました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

私は、夏休みに広島に行った
こともあり、資料館などにも
行ったため、戦争についての
一部分は知っていました。
でも、特別授業を受けて
自分が思っていたよりも実際の
戦争は、つらく、悲さんなもので
あったことを知り、しょうげ
き的でした。

また、原爆の威力を改めて
知り、一瞬で大量のかけが
えのない命が失われてい
たことに心が痛みました。
相手が助けを求めている、自分
も助けてあげたいのに、助け
られないことは、つらいこと
だと思いました。これからは、
いままでの過ちをくり返さずに
平和が続くといいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/17

・原爆先生のお話の内容を想像して、
とてもゾク、としました。「肉が...」「ひふ、か...」
と聞いたたびに、こわくなって耳をふさぎたくな
りました。でも、けっして目をそむけてよ
いことではないと思うので、お話を聞く
ことができてよかったです。
・私は今まで、広島、長崎の原爆のこ
とはほとんど知っていなかったの、今回
お話を聞いてたくさんを知ることが
できました。中でも印象に残ったのは、
やはり被爆者の方々のお話でした。
私が想像する以上にこわくて、きっと「わい
という言葉だけで」は表せないほどのこわさだ
と思います。座っていた人、歩いていたら、
いつものように過ごしていた人たちが、とつ
ぜんふきはされ、とつぜん死ぬことになるなんて、
とても悲しいことだな、と思いました。今、私た
ちが平和な世の中に生きていることは、本当に
幸せなんだな、と改めて思いました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/17

私は今まで原爆について、
広島と長崎に落とされた
ということしか知らなかつた
ので、今回の原爆先生
は、とても興味がありました。
今の世の中は、どんどん原爆の
おそろしさを知っている人が
減ってきているので、今回の
原爆先生を通して、原爆の
おそろしさを後世に伝える
ことができたら良いなと思
いました。そして、平和のすば
らしさを伝え、世界で戦争し
ているすべての国が、どうした
ら戦争をやめて平和にするこ
とができるのかを考え、二度と
このようなこわい思いをすること
がないように、つくっていきたく
と、考えるチャンスにつながりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

3/17

今回、原爆先生の特別授業を受けて思ったことは、原爆はこわいもので、これから絶対に原爆は落としてはいけないということです。そして、なぜ池田義三さんが17才で陸軍に入ったのかが不思議です。後、なぜチベット大佐が飛行機に母の名前を付けたのかも不思議です。京都が候補になった都市なのに原爆が落ちなかった理由も興味深かったです。アメリカもちゃんとみんなのことを考えているんだなと思いました。後、ラジオゾンデも原爆とかんちがいするの無理もないなと思いました。そして、一番びっくりしたのが、原爆が投下された時に、太陽よりも1000℃も高かったことです。とてもこわいです。そして、一しゅんにして人が消えたように見えるとあっ、って、しかもビデオも見たのでこわくてしかたありませんでしたが、こわくても知ること、非核運動を強化できるのかなと思いました。この時代に生まれたことに感謝して、この世界から核がなくなるように努力していきます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/17

私はこの特別授業を受講して、
今の平和のありがたさを知りました。
広島と長崎に原爆が落されて、
もし私がその場所にいたら...と思う
とびくびくしてしまいました。池田さんが
爆弾が落とされた音を再現した時に体
が無意識にふるえてしまいました。もし、そ
の爆波音をその場で聞いていたら、心臓が
止まってしまうかもしれないと思いました。
あと、「原爆ドーム」の元の名前が「広島県
産業奨励館」だと知った時、上について
いる、丸い球が形として残っていること、
今の世界遺産に入っているということも
おどろきと続けてほしいです。私はまだ一度も
広島に足をふみ入れたことがないので
すが、一回でも足をふみ入れて、原爆
資料館に入って、あの皮膚のたれ下が
った女の人、そして資料を見てみたい
です。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今までも原爆について習ったり、広島
の原爆ドーム、平和記念公園に行き、資料
を読んだりはしましたが、やはり何度聞い
てもおそろしいです。頭上600mの高さ
の位置に太陽よりも1000℃も熱いもの
が来たなんて、私には想像もできませ
ん。でも、池田義三さんは本当にすご
いなと思いました。原爆の影響でがれき
だらけになっている中、人のために全力
を尽くすことができるなんて、私はもし
そんな状況になったら、何もすることが
できず、ただ泣いているだけだと思います。
皮膚がただれていたり、ただ一瞬で消え
てしまう人、原爆によりたくさんの被爆
者や死亡者が出ました。そのことを心
にとめ、もう二度、原爆なんて落ちてほし
くない。そう強く感じました。そして私達は
この忘れてはいけないことを次の世代に
話していくべきだと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

2/17

聞いていて、とても怖かったです。天候によって、原子爆弾が落とされる場所がちがっていたなんてびっくりしたし、ちょっとでも天気がちがっていたら、と思いゾッとしました。ものすごい力の「リトルボーイ」。これで、小さな子、少年だ、たら大人だ、たら、日本が丸ごとこわれてしまってもおかしくないと思います。たったゴルフボール1つ分でヒロシマがあんなふうになっちゃって、もし、60kgが全て爆発したら、まさに「リトルボーイ」大人版。そんなことがおきないようにしたいです。たった1発の原子爆弾で14万人の方が亡くなって、5人に2人が亡くなった。こんな怖くておそろしいこと、もう絶対に2度とおこしてはいけなさと改めて思いました。ビデオで見た、建物がどんどんけむりにのみこまれ、こわされていく様子や、人がいっしょんで消えてしまうような様子もとても怖かったです。もう2度とやってはいけなさと、心の底から思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆のことを聞いて、これほどおそろしいことはないと思いました。資料館の原爆を受けた後の人達の姿をまねして作った人形を見て、義三さんが、「きれい」と言われたことが、とても心に残りました。動画でも「こんな生優しいものではない」と言われていたので、私たちが、おそろしい、こわいと思っているより何倍も何百倍も実際に体験している義三さん、そして被爆者の方々が苦しみ、そしておそろしかったことがわかりました。多くの方が苦しんで亡くなり、生き残った方もそれぞれ苦しみながら第二次世界大戦が終わったことがわかりました。でもこの苦しみ、きせいを無駄にせず、同じような失敗をくり返さなければ、無駄にはならないと思います。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日はありがとうございました。

私は毎年8月6日になると8:15にTVの中継を
観ながらもくとうをしています。でもTVには戦争
の悲惨さがわかりません。

でも学年文庫にある「はたし」のゲンを全巻読みました。
時にははたとしたくたなようなページがありました。が
逃げたいはいけない、と思、てじっくり読みました。それで
も義三さんは「きれいすぎる」と言うとは、その時の人間
はどのような姿だったか、想像もつきません。また、
人間はそこまでひどい有り様になるのかとも思いまし
た。

幸い私の家の祖父母、曾祖父母は戦争で亡くなっていません。
しかも身近に原爆経験者がいません。だから今日、
先生に教えてもら、て、初めて悲惨さがわかりました。
お話を聞くだけでもゾクゾクと恐くなるのです
から、実際にその場を真の当りにした義三さん
の苦し、悲しは知ることはできませんが、私た
たらその場で失神してしまうと思います。今日聞いた
ことを忘れずに、戦争に目を向けられるといいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/17

先日は、私たちのために「原爆先生」の授業をしてくださり、本当にありがとうございました。このお話を聞いて、改めて戦争は絶対してはいけないと思うことができました。私が、戦争について思ったことは、戦争は、人間が対立して起こしたことなので人間のかで止めることができるということです。けんかでも、相手の気持ちや自分の気持ちが変われば、和解することができるからです。これから、私たちに求められていることは、戦争の悲しさを伝えること、科学の力をコントロールすることだと思います。世界で唯一の被爆国、日本、だからこそ言えることだと思います。今の科学は、当時に比べて、大きく進歩しているので、人間が科学の力のコントロールしないと、地球がほろびてしまうと思うからです。

実際に、広島へ行ったことがないけれど、今度行ってみたいと思いました。日本を最初で最後の被爆国に替るために、私たちの世代が平和を守りたい。



名前は裏面に記入してください

じゅこ
原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は、原子爆弾のことを教えてくださり、ありがとうございました。
ございました。

17才という若さで軍隊に入り、広島で被爆者のかたのためにきちんと働けることは、とてもすごいなと思いました。私だけなら、逃げ出してしまったと思います。

私は原爆ドームに行、たことはありませんが、色々な場所で写真を見ることがあります。毎回見ると、怖くて、夜にねむれなくなってしまうほどでしたがそれを見て、「きれいすぎる」といって聞き、想像できないほどの光景なのだなと感じました。やけどで皮膚がめくれたりボロボロと落ちることや、市民の約40%の方が亡くなったと知り、原爆の恐しさを実感することができました。

今日までの社会の授業や今回の特別授業を通して、やはり、もう二度と戦争をしてはいけないなと思いました。

本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

7000℃の少年という題名を聞いて、やけどなどの話
なんだろうと思いました。私が想像するやけどをはるか
に超えていて、おどろきました。顔などをやけどし、赤く
はれてしまっている人、体じゅうがあつくて、苦しんでいる
人、その場にいた人の思いがひしひしと伝わり、つらい
気持ちも少しありました。「熱線」「衝撃波」「放射
線」によりせくなされた方がたくさんいると思います。でも
このような苦しみを味わった方の思いを伝えていける
人がいる、戦争や原子爆弾投下の話を戦争を体
験していない人に考えさせてくれる人がいるのは、
次世代にも役立つし、今この世にいる私たちにも
やってはいけない事を教えてくれる良い機会となり
ました。当時の爆弾の約1000倍の物を所有する国
がたくさんあるこの時代、この体験を生かして
いければと思います。今日は本当にありがとうございました。平和公園、原爆ドームにも足を運ん
で、戦争をした日本を知ることにより少し興味を持ちま
した。これ以上戦争を増やさない努力をすれば(み
んなで)平和になると私は思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回、「原爆先生の特別授業」をしてくださり、ありがとうございます。
私がこの授業を受けて、一番印象に残ったことは、太陽の温度が6000℃に対し、原爆は、7000℃で太陽よりも1000℃も高く、原爆の中心は、1000000℃という、想像することもできないぐらいの高い温度で、地面は、3000℃だったということです。
あと、私がおどろいたことは、原爆の温度が高すぎて、いつもは、すごい、つめたい水が、ふっとうしていたということです。そして、いっしょんで人間が炭になってしまったということです。そして、広島の人口が、35万人で、被爆者が、24万人と、とても、多く、4人に1人が亡くなってしまっているのもう二度と、戦争がおこらないでほしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

義三さんが経験した事を「私」を使って話して
いて、残こくて体の中側が寒くなるような
感じを受けました。被爆者の方々は一瞬間
で消えてしまったり、全身にやけどを負ったり、
今の私たちには考えもつかないひどい思い
をされたんだなと思います。聞いていると中
で、なぜ罪のない一般の人々が巻き込ま
れなければならなかつたのだろうか？と怒りを
感じました。最後のビデオで義三さんが、
「地ごとくよりもひどかつた。」

と話すのを聞いて、私がどんなに想像
しても足りないくらいひどい思いだつた
のかなと思います。

今世界では核兵器がまだたくさん
残っています。広島原爆の1千万倍のいかに
と聞き、あらためて恐怖を感じました。過
去に起こつた事は変わらないけれど、
もう二度と同じあやまちをくり返さず
平和への道を進んでいってほしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特^{じゅこう}別授業を受講して

表

今回、原爆について授業をしてくださりありがとうございました。
私は、広島や長崎の原爆についてあまり知りませんでした。しかし今回池田義三さんの実体験者が感じた原爆の話聞いてとてもこわかったと思います。また、広島以外にアメリカが原子爆弾を落とそうとした都市がらっもありおどろきました。そして私たちが後世に伝えていくのも大切なと感じました。しかし、伝えていくだけでは、本当のきょうふ、皮膚がただれおちている人は想像もできないし、味わえられずにどんどんうすれていってしまうものだと思います。

やはり、実体験と実体験者の話をもとにした本は、まったくちがうので、体験者からのDVD、手紙などは大切な

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅごう

表

今回は原爆暴についていろいろなことを教えてくださりありがとうございました。こうして教えてもらうまでには、原爆のことについては、大変な事になってたくさんの方の命がうばわれたとしか知らなか、たのでこの授業を受けられて良かったです。私はこの話を聞いていて、とてもつらく、悲しかったです。「リトルボーイ」は「少年」という意味なのに、とても強かな力で、最後の方におっしゃっていたウランも60kgすべてやったら想像がつかないほど強かな力になるんじゃないかと思います。想像するだけで胸が痛いです。九日間も求夕助にはげんていてすごいなと思います。私だったらもしかしたらいやになってしまいかもしれません。家に帰ったら、長山奇の場所についてと、なぜ小倉が選ばれなかつたかを調べてみたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

先日は、貴重なお話をしてくださり、ありがとうございます
ました。私は、原爆の怖さをあまり知りませんでした
が、今回、ほんの少し原爆の怖さを知ることが
できたと思います。原爆は、すごい熱で太陽の
表面度よりも、熱いことを知り、とても衝撃でした。
原爆が落ちた瞬間は、建物は、破壊と
いうよりも、そのものが無くなったという感じだ
と想像できます。原爆ドームは、昔は広島県産業奨
励館だということを知ることができました。
ラジオゾンデは、色々なものを測れること、広島
に投下された原爆は、「リトルボーイ」ということ、
「リトルボーイ」を日本語にすると小さな子、少年
という意味になるということ、投下目標地が
相生橋だったということ、広島での原爆の被爆
率が70%で死亡率は、90%だったということ、
長崎県で使われた爆弾の原子は、プルトニウム
で、広島県で使われた爆弾の原子は、ウラン
だったということとたくさんを知ることがで
きました。本当にありがとうございます。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/16

今回、特別授業を受けて、思う事がたくさんありました。

私は戦争や原爆などの本を読んだことはあるけれど、体験談などは聞いたことがなかったので、原爆の残酷さ、悲惨さなどをリアルに知ることができました。

聞いただけで気分が悪くなりそうなお話ばかりでした。私は、いつも生々しい写真などに目をそらしてしまいましたが、きちんと向き合い、未来に生かしていくことが大切だと思いました。

私は今日、戦争、原爆の悲惨さ、残酷さを知ることができたので、絶対に戦争を起こさない、平和な社会に将来はしたいです。

家に帰ってから家族とも話し合いたいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

先日は原爆についての特別授業をしていただき、

ありがとうございました。

ニュースや新聞などで「原爆」という言葉は、よく聞きますが、

ただ「怖い」というだけの認識でした。でも、今日お話をうかがって

原爆に対する意識が変わったような気がします。今までは、

「原爆なんて危ないなあ」と思うだけだったし、その上自分とは

あまり関係のないことだと心のすみで安心していました。

そんな私が、今回このような授業を受けさせていたについて、思わず

耳をふさぎたくなってしまいました。たくなるような、苦しいお話を聞き、

そして当時の原爆の1000倍もの力があるものをたくさの国が

保有しているという事実を知ってとても大きな恐怖を感じました。

皮膚がとれてしまう、いっしょんで死んでしまう、死体からうじ虫

がわく、などという表現は本当にこわくて、思わず下を向いて

しまいました。そんな苦痛を味わった方々の辛さは、かたんに

分かるようなものではないと思います。池田先生のお父様、

池田義三さんの涙を見て、私は何も体験していないのに、胸が

張りさけそうでした。きっと被爆者の方や、兵隊の方々は比かくに

ならないほどの痛みがあると思います。今日聞いたお話が、これから

もずっと忘れられることなく、大いびにされ続けてほしいです。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

2/17

今日の原爆先生を通します。私が去年、原爆ドーム資料館へ行ったのを思い出しました。社会の時間に絵本をしょうかいされ、私は強く興味を持ち、実際に見たかったからです。原爆についてまだほんのわずかが知らない私たちは苦痛、苦しみなどは分かりません。義三さんが感じた思いなどを今回知れて良かったです。エノラゲイの中のたった1kgのウランの影響でこんなにも大変なことになるとしたら、1千万倍の今の核は怖いなと思いました。少し前まで普通だった日々が1kgの力で絶望になってしまう。この世で一番恐ろしいのは、人々の感情だと強く感じました。過去は変えることができませんが、今はまた変えられるので、もうこのようなことが起きないように、原爆を知ること、平和のために考えること、少しでも行動にうつすこと、行動にうつしている原爆

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

先生に尊敬しました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回は原爆の貴重なお話をしてくだ
さり、ありがとうございます。

広島と長崎に原爆が投下されたこと、
は知っていましたが詳しいことは知らな
かったので、おどろくことがたくさんありま
した。原爆をおとす前に、候補になった
都市があったことにおどろきました。

京都におとされなかったのは、文化財を壊
されずに済んだので、不幸中の幸いなな
と思いました。でも、広島と長崎におとされ
たのは、とても許せないことだなと思います。
おとされる前に普通に生活していた人々は
何も悪くないのに、実験のために亡くな
ってしまった人たちがかわいそうだなと思い
ました。当時の原爆の破壊力もすごい
なと思いました。今の原爆は、もっと破壊力
がすごいと知り、とても恐怖を感じました。
なので、もうこういうことが起こらないように、
世界が平和であってほしいと強く思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

今回は、私たちのために特別授業を行ってくださりありがとうございました。

私は、戦争の話や原爆の話を今回のようにくわしく教えてもらった事か
なかつたので、びっくりする事や、少し
こわく思った事もたくさんありました。
特に、「人間なのに、人間の姿に
見えないほどの火傷を負っていた」と
いうのは、私には、想像できません。
「皮膚がたたれて、もち上げると、はがれて
しまう。」想像したくないほどの
こわさを感じ、話を聞いているだけで
でも手足がふるえそうになりました。
戦争のこわさ原爆の恐ろしさ全てが
なくなる強さ、体験した人にしか
分からない未知の世界を今回
教えてもらえた気がします。未来を
生きる私たちが世界を平和にしたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/17(土)

原子爆弾の怖さを改めて感じました。今、朝鮮がミサイルを飛ばしています。すごくそれは、怖いことです。何人もの人を殺してしまう、殺人兵器です。ですから原爆先生の話を聞いて少しでも戦争などがなくなり平和になったら良いなと思います。

「池田義三」さんは辛く思っている様子でした。軍隊に入る年れいが四年も早いなんて想像を絶するくらい辛かったと思います。胸が痛みました。最後のビデオでは、話している時に悲しんで涙がでてきてしまいました。

今の原爆ドームの写真が見られないくらい無残な状態でした。

これ以上戦争がなくなり平和な世界がよいなと今日この話を聞いて思いました。ありがとうございました。毎心にこめてお送り。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回の授業でたくさんを感じました。前までは、原爆は怖いもの、人々を傷つけるものということしか知りませんでした。しかし、今回のお話で原爆はどういふものなのか、人々はどうやって生き延びたのかがよく分かりました。原爆はたくさんのものを破かいしました。私は、この現状を改めて知り当時の人々はどのような思いだったのか気になりました。池田義三さんの映像を見て戦争というのはどれほど恐ろしいものなのか分かり戦争そのものを見たことがない私でも本当につらくて苦しかったんだと思ひ涙が出てきそうでした。この授業で思ったのは、戦争は人間がやったことなので人間は恐ろしい生き物だということです。私は、教えてもらったことを次の世代、その次の世代へと受けつがなければいけないと思いました。ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今日は、私たちのために戦争の時のことを教えてください
ありがとうございます。戦争のことは、学校の宿題で調べたり
親せきから話を聞いたことがありましたが、初めて知ることはか
りでした。5人に2人が亡くなったと聞いた時は、とてもぞっとし
ました。何も悪いことをしていないのに14万人もの広島の人か
亡くなってしまうのはあってはならないことだと思います。

池田さんが体験した九日間は、私たちが想像もつかない
くらいの地獄の九日間なのだと今日感じました。

目の前に、たくさんの方が自分に「助けて」と言ってくるけれど
助けられないという地獄、何人もの死体をつかまなければ
いけないという地獄、たくさん辛いことがあったのだと思
います。池田先生の話を知り、実際に戦争も体験
した池田義三さんの動画を見て、実際に原子爆弾が
投下された日本が他の国の人に原爆の苦しみを
伝えていかなければいけないなと感じました。

今日、池田先生に教わったことを絶対に忘れない
ように、どうしたら戦争がおきないかと考えていきます。

また、1日でも、はやく原子爆弾がなくなつて平和な国
に私に何か少しでもやることがないか考えていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

私は、今回のお話を聞いて、本当に戦争はしてはいけない、と思
ました。たとえ勝っても、死者は必ずいます。そして、人を死なせてまで
国の力をつけたりするのは絶対いけないにすぎず、命より大切なものは
ありません。それに、戦争の記憶はいつまでも残り、その人を苦し
め続けます。どんどん化学が進歩している今、戦争をしたら、今、
本当に大変なことになると思います。ですから、私は今日聞いたことを、
どんどん伝えていこうと思いました。特に印象に残った、実際の
体験談を伝えたいです。その場で見た、人間ではないような姿、
そこで感じた、吐き気のする匂いや、その負傷した人に触れた時の
感じ、その場で聞こえた爆発音、うめき声、助け声、助けてくれ
という、弱々しい声。先生から聞いた時に、私が想像したように、
聞いた人が、その場にいたかのように想像できるような伝え方
をしてほしいです。何もわからず、世に亡くなった人、約二万人の
人、あまりの熱さに水に飛びこみ、亡くなった人、爆発が
原因の病気で亡くなった人、家族が亡くなった人など、たくさ
んの人か亡くなった、悲しい、苦しんだ戦争が無くなり、平和な世の
中になるといいと思います。今はいろいろなことを考え、伝えてくだ
り、本当にありがとうございました。たくさんの人に伝えられたら
いいと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

私は小さい時に原爆ドームに2回ほど行ったのですが、皮がはがれている人形を見たときに怖くてそれから一ヶ月間ほどトラウマでいて、それで「モキイすぎ」というのは私にとって、想像もつきません。

原爆で死んでしまった中で、即死だったら、もちろんつらいとは思いますが、放射線で死んでしまった人は、何年も苦しんで、死んでしまうのは本当に怖いと思います。

私のおばあちゃんのお父さんお母さんは、原爆が落とされた時奇世奇的に広島に住んでいても広島にはいなかったらしくて、「もし広島にいたら」と考えるとぞとします。自分は生まれないことが怖いのです。

日本のみかじ体験していることなので、これから絶対仕返しのようなこととして谷欠くはないです。

原爆については小さい時から聞かされてきました。なので今回くわしく聞くことができすごく嬉しいです。

今、平和な時代に生まれて本当によかったです。

原爆があった時誰か何をしていたかはわかりませんが、今、いつ死んでしまうかわからず日々1秒1秒を大切に生きていきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

腐った死体をおぶって歩くのはとても大変だ. . . と思います。私の兄は今19才ですが、兄より年下の男の子がそんな事をしているのはとても想像できません。そして、池田義三たちが処置をして救った女性も泣かないでいたのは、とても強い事だ. . . と思います。

話を聞いていただけでも怖いのに、現場にいた人はどれほどの恐怖を味わったのか私にはわかりません。

これを機会に、広島資料館へ行ってみよう. . . と思います。唯一の被爆国の国民である私たちには、戦争とはどういうものだったのかを知る義務がある. . . と思います。

これから戦争を体験した日本人はどんどん減っていきます。その人たちがいなくなっても、未来の子どもたちにも戦争のつらさをわかってもらうために今の私たちが伝えなければいけません。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

2/19

私は二の話を聞いて戦争と原爆はものすごく怖いなあと思えました。もし、私が70年前くらいに生まれていたら、多分死んでいたと思います。また、今回の話を聞いて、かなり核のおそろしさを知りました。太陽の6000°Cよりも高い7000°Cは、そういうなあつただと思えました。広島の実験ドームに私はまだ1回も行ったことがありません。だから、こんど1回冬休みくらいに実験ドームに行こうと思えます。えきの広告にもたまに実験ドームのことについてでてるので、あるていどのことは知っています。でも、今は北朝鮮のミサイルが昔の原爆よりもおそろしいので、核を世の中からなくするためにがんばろうと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

授業をして下さってありがとうございます
ございました。原爆体験者の方が
少なくなっているのでも、なかなか、
お話を聞くことができないので、
今日、聞けて、良かったです。
原子爆弾が落とされ、被害にあった
方は、死ぬか生きられるかの境にいて、
とてつもない恐怖を感じていたのだと思います。
比べてはいけないうちかもしれませんが、
被害にあった方たちに比べて、私たちは、
どれだけ幸せか、どれだけめぐまれているのか、
改めて実感しました。原爆にあった広島、
長崎では、忘れようとしても忘れられない、
出来事だ。と思います。広島だけでも
死者数14万人。家族や大切な人を
失った方がたくさんいらっしゃると思います。
私には、友達も家族もいるので、誰かを
失う辛さを知りません。なので、その方たちは
本当に辛かったのだと思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

広島に投下された原爆。
「リトルボーイ」の速度、温度
におどろきました。
原爆先生は、時速300km
とおっしゃっていましたが、
私には想像もできません
でした。それも私は、それ
を秒速に直して考えました。
すると約83m/秒でした。
そして、温度は中心部分
で7000℃、太陽の表面温
度より高いと聞き、核のお
そろしさに、少し目かくらみ
ました。でも、その中で、爆
心地まで行き、それでも、人
を助ける事ができる。池田
義三さん、その他たくさんの方々に
に、心から、はくしゃを
送りたい気持ちになりました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

皮がペロリとはがれる、という表現が深く心にさざりました。原爆ドームの中に展示してある、手の皮がはがれたお人形を見て、とてもワロテスワテ実際にこのような人たちがいたのか、と改めて思い心が重くなりました。でも、原爆は落とされる方もつがいけれど、落とす方も相当つがいと思います。結局、原爆を落として戦争に勝っても何の罪もない人を沢山死なせてしまった罪悪感が残るし、また、原爆を落とされた方は、原爆によって自分の人生が大きく変わるし、どちらにしろ原爆は不幸になるのだなと思いました。でも、一回このような経験があったから次の世代でまた同じような失敗をくり返さないように出来ると思います。もう二度と、原爆が落とされませんように。今日は、原爆について沢山の事を教えてくださりありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

今回、原爆先生の特別授業、7000℃の少年を受講させていただきありがとうございました。原子爆弾投下都市の条件は直径5kmを超える大きな都市で平野であり、効果的に破壊できるいままで空襲がなかった都市でなければならぬということは今まで知りませんでした。また、候補になった都市が広島と長崎だと思っていたのに、一番強くおされた所が京都だということにおどろきました。B29爆撃機エノラ・ゲイの名前は機長の母の名前だということがわかりました。広島に投下された原爆「リトルボーイ」は小さいという意味が名前に入っているのに4ももあるのはなぜだろうと思いました。被爆した方々は本当にかわいそうだなと思います。温度が7000℃なんてとても熱そうです。もし私がそこにいたら広島や長崎の方々のように焼け死んでしまいそうと思うと恐ろしいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

先日は、私たちのために、特別授業をしてくださり、ありがとうございました。この授業を受けて、私は改めて戦争は、いけないことだなと思いました。ゴルフボール1個分の大きさのウランが、広島を、一瞬にして、うばってしまえば、ほど、悲さんなことはないと思いました。太陽の表面温度と同じくらいの温度が、何も知らず、上から落ちてくるなんて、私には、想像すらできません。

今回、この授業を受けて、改めて戦争の悲さんさを感じました。そして、これからは、戦争によって苦しんでしまいうきせい者をつくらず、戦争のない未来を造っていくことが大切だと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅごう

表

この授業を受ける前まで私は原子爆だ
んが広島と長崎に落ちたことぐらいしか知って
いませんでした。大変だったんだ、と自分には
関係のないどこか別世界の事のように思
っていました。でも今日この授業を受けて、
この日本で本当に起きたことという事を改め
て認識し、そしてきょうを感^じいました。
人が一瞬間にして人でなくなってしまうなんて
私には想像ができませんでした。私の父は小
倉出身なので、小倉に落とされる可能性が
あったんだよという話を聞いたことがあります。
私が今ここにいられるのもきせきだなと思っ
ました。今ここにいられていることに対しての
感謝と同時に破爆された方の苦しみの
大きさにむねがいはっほいになりました。
私にははかりきれないほどの苦しみがあ
った、そして今も続いているということを忘れ
ずにこれから過ごしていきたいと思います。今日は
本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

原爆について様々なことを教えてください、ありがとうございました。原爆の怖さを改めて感じる事ができました。最初に資料を見た時は、「7000℃の少年、てなんだろう」と思いましたが、受講して、リトルボーイのことだとわかりました。横浜、新潟、京都なども原爆を落とす場所の候補だったとは、今日初めて知りました。原爆が太陽よりも温度が高いというのは、相当なことだと思います。ウランが全体の60分の1つまりゴルフボール1個分しか燃焼していても関わらず、広島市全体を汚してしまうのに対し、もしウラン全部が燃焼していたら広島はどうなっていただろうと恐ろしいという気持ちになりました。池田義三さんは、まだ21才にはなっていないにも関わらず、9日間救助活動にはげんだことは、とても私達のお手本になるくらい素晴らしいなあと感じました。今日の受講で教えていただいた原爆のことを後世に受けついでいきたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

とても印象的な授業をしてくださり、ありがとうございました。戦後70年の時新聞やテレビなどでしょっちゅういされているものは見ていたか、義三さんの話を聞いて、よりくわしくわかるようになりました。

日本の国民はなにも悪いことはしていないのに、原爆を落とされてかわいそうだと思っていました。アメリカも日本の文化を気にしていたことにおどろきました。

約100万度にもなる爆弾が3000度になって、地上におち、たくさんの命がうばわれることに変わりました。きょうは、を感じました。皮膚がただれてしまっ、大やけどを負って、苦しくて、いたい。そんな経験をしたことありません。どれだけ苦しくて、つらかったのか考えるだけで胸がいたみます。義三さんもそれほどの苦勞をしたのだと思います。

戦争は、たくさんの人の命をうばいます。けれども原爆ほど、経験者の心に深くのこり、苦しめるものはないと思いました。私もこのお話の経験をあとに、将来の人たちにも伝えて、きたいと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/17

先日、特別授業をしていただきありがとうございました。私の祖父や祖母は戦後生まれて、戦争中のお話を聞く機会がほとんどないのでとてもためになっています。今回のお話で心に残った事はあります。1つ目は原子爆弾投下都市の条件です。私は③の空しゅうが今までなかった所という条件は、今までは平和(戦争中にしては)で、「まさかここには」と思っていた日本人の弱みを生かすためだったのではないかと思います。私は母方の祖母の実家が新潟で、2年~4年の4月まで新潟に住んでいました。新潟は雨がちな気候なので「原爆を落とされずには」と言います。曾祖父母が新潟で被爆していたら、私は生まれていません。私が今、ここにいるのも奇跡なのではないかと思います。2つ目は、リトルボーイについてです。アメリカの人は9632mの高さから投下目標地の約4km前で落とせば上手くいくというのを予想できる頭のよさを他で使ってしまかったのではないかと思います。またリトルボーイに入っていたウラン60kgが全て爆発したら日本列島だけでなく、韓国や中国にも被害がおよんだのではないかと思います。最後は「7000人の少年」。私はリトルボーイの事だと思います。本当に貴重な経験をありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこ

表

2/17

「7000℃の少年」というのは、広島に落とされてしまった原子爆弾「リトルボーイ」のことなのかなと思いました。

広島にいた人たちは、原爆を下から見るとどう見えたのか、どう思ったのか知りたいです。そして、原爆が落とされた後、大やけどを負い、皮膚がただれて、「痛い」という苦しみや、不安は体験した方にはしか分からないと思うけれど、戦争の大変さを知って、戦争は糸色対にはいけないということをきちんと実感していきたいと思います。

候補になった都市にもし原爆が落とされてしまっていたらどうなってしまうんだろうと思い、改めて、戦争、爆弾のおそろしさを実感します。

義三さんや兵隊の方々がたくさんの人を救ったのだなと思います、すごいなと思いました。

また、戦争によって命をおとした方々のことを思うと、本当に悲しい気持ちになります。

これから私たちが未来をつくっていく中で、戦争を起こさず平和な世界をつくっていくために今できることをしたいです。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

2/17

私は、この特別授業を受けるまで、原爆はこわいし、見たくないと思い、目を背けていました。しかし、この授業を受けたことで、ちゃんと知り、後世まで核のおそろしさを伝えていかないと、やらねえんだなと思いました。当時の広島市の人口のうち、40%も人が亡くなりました。それから約70年もたつた今では、当時と同じだけのウラで、いったい何倍の被害が出るのかと思うと、おそろしくなりました。太陽よりも熱い火の球が、音速よりもはるかに速いスピードでおそってくることの恐怖や、熱さは、想像できるようなできません。唯一の被爆国である日本が、世界に原爆のことを伝えていかないと、またどこかの国で同じようなことが起こってしまう気がしました。池田義三さんが原爆資料館の人形を見て、「きれいすぎる」とつぶやいた、というのが印象に残りました。つぶやいてしまうほど、70年前に目の当たりにした光景は、悲惨なもので、たことが伝わってきました。後世まで伝えていきたいです。ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

今日は子供たちのために貴重なお話をありがとうございました。

松達世代もそうですが、戦争を知らずに平和な社会に育ち、戦争の頃、話が風化していく現在原爆とは何かを、広島、地獄のような悲惨な話を聞くことにより、絶対に戦争は起こしてはならないという事を改めて理解した事と思います。

これからもお父様が広島で経験した話を通して、社会やこれからの未来の為に子供たちに戦争の悲惨さを伝えていって下さい。

今日は本当にありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

原爆の影響も、お話と映像から学ばせていただく中、その
恐ろしい光景に、目を閉じてしまうほどでした。

受講後、子供との会話にも、「広島県産業奨励館の
中の展示物が、きれいすぎるとは、どういう意味なの？」
という質問や疑問が、出ました。

受講内容を、振り返りながら、言葉を選び、伝える
ことが、辛く感じました。

しかし、子供がこれからの人生の中で、戦争に関
わることが、無いと断言できないと思い、今回の内容を
忘れずに、学び成長してほしいとの願いを込めて、伝
えました。親子で受講あることができ、良かったと思います。
貴重な機会を与えていただき、ありがとうございました。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業におい、大変貴重なお話を拝聴する機会をいただき、心で感謝申し上げます。終始、戦争の悲惨さを体感した思いに至った。原爆「リトルボーイ」の投下ボタンを押下し、もって、何十万人という人の貴い人生を奪い去ったことに、改めて怖ろさを感じるとともに、憤りも湧いてきた。国体護持の錦の御旗に拘泥し戦争を継続した当時の政府・軍上層部の誤った愚かな判断が、何の罪もない、平穏な日常を送っていた人々の生活を奪ってしまったかと思うと、やり切れない。原爆に押し、おぼろ人間とは思えない姿となつた人々、男女の区別が分からぬほどに苦しみ、痛みを耐えさせよう人々、おびたしい人々の遺体の死臭など、目の当たりにマけた池田さん(原爆犠牲)の心境はいかばかりであつたか、想像するに胸が締めつけられる。池田さんは、恐らく平成21年にお亡くなりになるまで、そんな地獄のような光景が、と脳裏から離れず、忘れることのできない辛さに長く苦しまれたことだろう。

今回お話を伺い、戦争の無い世界や平和のために、我々は何をしなければいけないか改めて考えさせられた。今の時代を生きる大衆の人々が、平和を当たり前のもので享受し、平和を祈りてしまつて、起る風潮を危惧している。あと10年もすると、被爆者の方から直接生の声をお聞きできなくなつてしまう。被爆者の体験や思いをいかに次の世代につなげていくか、その大切さ、必要性を強く実感した。しかし、昨今のトランプ大統領の核装備増強に向けた言動や、北朝鮮の核開発の動きからは、むしろ核戦争勃発リスクが高まつてしまつている。この状況に、池田さんは、草葉の陰にさぞや虚しさや憤りを感じておられることだろう。世界に15,000発もの核爆弾が存在することを目のみに、愚かな為政者が、広島長崎と同じ過ちを繰り返さないと限らない。人間は、歴史に学び進化を遂げてきた。広島長崎への原爆投下という愚かな経験に学び、核廃絶、軍縮の流れが

特定非営利活動法人原爆先生 <http://hiroshima9.com> post@hiroshima9.com

今後高まるといふことを切に願うばかりだ。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日の原爆先生のお話は、今までには聞いたことがないような原爆の惨事でした。人間が作り出した原子爆弾によって、一瞬にして何万人という人間がこの世を去る。これ以上の悲しい出来事はありません。

人生の半分以上をすでに生きてきた私に、これから何かできるのか。まずは娘と一緒に、原爆の恐ろしさ、悲惨さについてもっと調べ、知るところから始めようと思いました。そして戦争と知らない世代ではありあつか、被爆国である日本で生まれ育った人間であるからどうできるかは何かと親子で考えていくべきだと思いました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

戦中、戦後の体験談は両親から度々聞いておりましたが、原爆に関しては東京で生まれ育ち、身近に直接体験された方などがおらず、生の声を聞く機会は今までほとんどありませんでした。子を持つ親としても一人の社会人としても、次世代に語り継がなくてはならないと思いつつも勉強不足、知識不足でした。

今回先生のお話を伺い感じましたことは、歴史的な事実はやはり正確な情報や知識を得なければなりませんということ。そしてその事実に対して自分自身の意見を持ち、しっかりと行動に移すことが大切であることを実感致しました。原爆、たった1kgのウランが広島を惨状にしてしまったこと、特に被害に合われた方々の想像を絶する様子をお聞きし、この歴史は決して風化させてはいけなと感じました。家庭でも今回のお話の内容について娘と話し合い、正確な歴史を学ぶきっかけになって欲しいと存じます。

貴重なお話を頂戴し、ありがとうございました。



原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

今日は、貴重なお話をありがとうございました。

先生のお父様の手記をもとにしたお話を伺ったうえで
原爆が広島、長崎に投下された経緯や衝撃波
について説明いただいたことで、これまでとは違う形での
とらえ方ができたように思います。

「記録と現実には違ふ」というお父様のお言葉、
深く心に残りました。

今日のお話を深く心に留め、

平和の大切さ、平和を守るために何をすべきか、

考えてまわりたいと思っています。

ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

今日は原爆についての貴重な授業に出席させていただきありがとうございました。実際に広島で原爆を体験され、その直後から爆心地で救助活動に携ったお父様の手記に基づくお話だからこそ当時の惨状が痛いほど伝わって来たのだと思いました。先生の講義は、静かな語りで進められましたが、原爆投下まじにその瞬間を音で表現されたことにより、より鮮明にイメージができました。また、語りの中で沈黙を取って下さることにより、聞いている私達はお話の内容を自分なりに想像し、解釈するきっかけを与えていただいたと思います。今回の講義では、原子爆弾の具体的な解説もしていただきました。投下された原爆の外周温度が7,000と、太陽を超える高温の爆弾が上空600メートルで爆発したらその下にいた人々がどうなるか。一瞬で目の前にいた人が消え去った理由がよく理解できました。この上ない恐怖です。私達はこれまで写真や映像を見て、戦争そして原爆は恐ろしいと感じて来ましたが、本日の先生のお話を通して爆心地で被爆した人々が受けた恐怖が想像され、命についてもう一度深く考えました。爆心地で見た光景をお父様が思い起こして文にするのはどんなに辛く苦しかったことでしょう。映像の中で涙を流して語られた姿はその体験を物語り、心に響きました。本当の原爆の恐ろしさを体験談から知ることは大切なことだと実感いたしました。広島に原爆が落とされた日のことをこれからも語り続けていきたいと強く思います。



名前は裏面に記入してください

原爆先生の特別授業を受講して

表

本日、池田眞徳先生より伺った事は、私共が心に刻み忘れては
いけないと思いました。広島に原爆が投下されたことは、本で読んだり、
テレビの映像で見たりして、少しは、知っているつもりでいました。けれども、
今までの知識は表面的であることに、今回気がつきました。

池田先生のお父様の、言葉では言い尽くせない程の悲惨な体験を
お父様が自身が書き残され、池田先生がその記憶を語り継いでくださっ
ていることで、私共が知り得なかったことを知ることができました。

お父様のセリフの中での、涙で言葉がフマッとお婆が、この授業の
全てを語っていると思いました。

娘はお話を聞いて、「怖かった。」と言いました。私も、いろいろな意味で
「怖い。」と感じました。

池田先生がこの活動を続けていられ、やる想いを想像しながら
今日のお話をもう一度、いえ何度も考えていきたいと思えます。

子供達と共にこのような授業を受ける機会をいただけたことに
感謝申し上げます。

日本中の子供、大人、そして世界中の人々にも聞いて欲しい、感じて
欲しいと心より願います。そして、何故このような事が起きたのか
これからどうあるべきかを考え続けていなければならないと思えます。
ありがとうございました。



原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

30年近い昔、高校生の時に修学旅行で原爆ドームを訪れたことがあります。資料館の展示物に衝撃を受けましたが池田義三氏が「綺麗すぎる。」と言っちゃったということを知り、本当に本当に目の前には地獄絵図のような光景が繰り広げられていたのだと改めて衝撃を受けました。

原子爆弾について、ここまで科学的に詳しくお話を伺ったことがなく、その破壊力は想像を絶するものでした。特に原爆が投下された場所の地表は3000℃にも達していて、全てのものが溶けて気化し、外にいた人が一瞬にして炭化し黒い影となった映像を観た時は、ぞっとしました。

池田氏がビデオで涙ながらに原爆投下後の長崎の様子や遺体を運び焼いた時のことを話されていて、その後長年に瘦り原因不明(放射能の影響だろう)の難病に苦しめられていたことを伺うと、爆心地で一瞬またはすぐ命を落されたかたけれど、あつと苦しみのなかで生きていらしたことが分かり、とてもつらくなりました。

今の技術では、広島に投下された原爆の千倍もの破壊力があるといわれます。原爆投下は、遠い昔に遠い場所で起こったことではないと思います。核兵器による戦争の影が忍び寄る今、私達は原子爆弾の恐ろしさを知り、一人一人が戦争を起さない為に何か出来るか考え、行動すべきだと思います。



じゅこう
原爆先生の特別授業を受講して

表

名前は裏面に記入してください

この度は大切なお話をさせて頂いてありがとうございました
ございました。小さな時から原爆の悲惨さを
伺う機会は何度もあり、充分つらさ、戦争の
悲惨さ、人間の命の大切さは分かっていてこそ
ソレこそ、最後のお父様のお話には本当に
胸がしめつけられました。

原爆によって人が人間ではなくなり
にせくなっていくこと、目を閉じてくても目を
開く状況、聞く事達もつらいお話を
思い出し、言われてくたさるのには
ことごとくと察します。

そ中でも、せくなつて方の無念をお話
してはいけないこと、後世の為に
向き合ひ、伝え続けなくては
いけないと感じました。

まだまだお話を伺い
ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

中学生の修学旅行で 広島へ行き
時に、

ました。 平和記念公園の青と緑が
映えた美しさ、そして 平和記念資料館
の中で見た 何と残酷な資料の数々。
全く正反対のこの公園と資料館の
たたずまいが、記憶に残っています。

池田義三氏が 60年以上経て、広島へ
行かれ、資料館で たった一言「きれい

すぎる」とおっしゃったその心情に思い
を馳せると、胸がめくられるようです。

深く重い、悲しすぎる一言だと思いました。

オバマ前大統領が来日し、祈りを

ささげてくれたことは、戦後70年の

年月をあらためて考えさせられます。

この度は貴重なお話をうかがい

ました。心から御礼申し上げます。



原爆先生の特別授業を受講して

じゅこう

表

名前は裏面に記入してください

広島の前爆の事を、今日の様に詳しくお聴きたのは初めて
でした。原爆の温度や上空何mから投下されてどこ辺で
爆破し、また上空何mで^{爆破して}という事まで教えて頂き、改めて
驚いたと同時に、その凄まじい過去の現実をとても恐ろしいと
思いました。しかも そのすごい破壊力のあった原爆が、今では
その1000倍の破壊力にまで進化しているという事も、驚きました。
そんな爆弾が1発でも爆破したらと思うと、考えるだけで恐いです。
天候が悪ければ、日本の他の地域で投下された事や、
その悲惨な状況を冷静に記録に残していたという事も、
知りませんでした。

世界中の人々に、この様な惨状が詳細に知られ、
絶対に戦争は起こしてはいけない、爆弾を投下しては
いけないという事を考えてほしいと思いました。

平和の尊さを改めて感じ、この平和が続いてほしいと
強く願いました。

本日は、貴重なお話を お伺いでき、本当に良かったです。
ありがとうございました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して

表

授業の冒頭から、ただならぬ緊張感を感じつつ、先生のお話が
始まりました。私も娘と共に三年前の夏休み、広島平和記念資
料館に行ってみました。そこで知り得た知識などと、重ね
ながら、拝聴させていただきました。資料館では「原子爆弾
がもたらした惨状を表したたくさんの資料や、写真を実際に
この目で見てあまりの惨さに言葉が出ませんでした。先生のお父
様の生々しい、地獄のような体験の数々を聞き、心が痛むと
共に、何万人もの方々が原爆の被害者となり、多くの方が
亡くなり、また、今も尚、後遺症で苦しんでいる方々が大勢
いらっしゃる……。何で言葉で表現したら良いのでしょうか？心の
底から、憤りを感じずにはいられませんでした。私は家が近
いこともあり、よくスカイツリーの横を車で通るのですが、
ちょうどこの日曜日も娘とたまたま通ったのです。先生のお
ご説明にありました、約600メートルの所で爆発したとの
話しを思い出し、まじまじと上を見上げました。スカイツリー
は、もちろん高いです。しかしながら、この高さで原爆が爆
発し、中心部は7000度、その跳ね返りが3000度なんて、
考えたくもありません。惨すぎます。娘と改めて、原爆の
恐ろしさを思い知らされました。



名前は裏面に記入してください

原爆先生じゅこうの特別授業を受講して



最後に、お父様は数年前に亡くなられたそうですが、本来なら思い出すのも、はたまた、口に出すのもためらわれるであろう、酷く、悲しい、凄惨極まりない実体験を包み隠さず、息子さんに伝え、その思いを託されたお父様に、私ごときで大変恐縮ではありますが、畏敬の念を捧げさせていただきます。

この度は、貴重な授業を親子共々参加させていただき、本当にどうもありがとうございました。